

芸術

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽Ⅲ	2	3年次・I2群	自由選択

目 標	履修の条件・連絡
1 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てる。 2 音楽的感性を磨き、生徒一人ひとりの個性を十分に生かした創造的な表現能力を高める。	・2年次で音楽Ⅱを履修していること。

使用教科書 (出版社)	Joy of Music (教育芸術社)	副教材 (準備物)
----------------	-------------------------	--------------

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学習のねらい
	1 学 期	4月	童謡弾き歌い	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏が弾けるようになる。 ・歌詞カードを作る。 ・歌詞を覚える。
		5月	器楽独奏	<ul style="list-style-type: none"> ・技術を高め、曲に応じた表現を工夫する。 ・様々な楽器の奏法や構造について理解を深め、各楽器の演奏能力を高める。
		6月 7月	中世の音楽 ルネサンスの音楽 バロックの音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・中世の音楽について理解する。 ・鍵盤楽器やリュートの音楽について理解する。 ・合奏協奏曲について理解する。
2 学 期	9月	日本歌曲 「初恋」「霧と話した」	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を正し発声法の確認をする。 ・リズム・音程を正しく歌う練習をする。 	
	10月 11月	古典派の音楽 ポピュラーソング 「島人の宝」「Stand Alone」 器楽アンサンブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ソナタ形式について理解を深める。 ・互いの音を聞き演奏できるようになる。 ・歌詞の内容を理解して歌唱法を工夫する。 ・アンサンブルの技術を高める。 	
	12月	ロマン派の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・ショパン、リストの作品について理解を深める。 	
3 学 期	1月 2月 3月	創作 20世紀の音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏のアレンジをする。 ・西洋音楽の多様性について理解する。 	

学 習 評 価	観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	規 準	音楽を愛好し、音楽文化を尊重する態度を身に付けると共に個性豊かに意欲的、主体的に音楽活動を行おうとしているか。	感性を働かせて、音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを深く感じ取り、個性豊かに創造的な音楽活動の工夫をしているか。	自己イメージもち、個性豊かに充実した創造的な音楽表現をするための技能を身に付けているか。	音楽文化に対する総合的な理解を深め、そのよさや美しさを個性豊かに味わっているか。
	手 段	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度の観察 ・実技試験とレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度の観察 ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の観察 ・レポート
	各学期や年間の学習状況の 評価方法	単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。			

学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に教科書を中心に授業を展開するので、楽譜が読めるように予習しておこう。 ・楽器の演奏技術を高めよう。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。
-------------	--